

- 2 アジアの中央銀行
タイ銀行



- 4 特集

未来をひらく文化力

インタビュー 料理家・随筆家 辰巳芳子

島根県 郷土愛が支える義肢装具作り / 新潟県 「宝石の原石」を磨く古民家再生



- 17 column / 一字千金

企業価値を高める経営 経済同友会 副代表幹事・専務理事 渡辺正太郎

- 18 対談 / 守・破・創

想像の翼を鍛えることが、
これからの時代では重要になってきます

画家・東京芸術大学教授 絹谷幸二

日本銀行副総裁 武藤敏郎



- 24 池上 彰のやさしい金融経済教室

「日本銀行政策委員会」とは、どんなもの？



- 28 にちぎんのある街から

小樽 “北のウォール街”の栄枯盛衰

- 32 クローズアップ・あの日 あの時

難攻不落への挑戦 日銀本店 旧一号館の解体と新館建築



- 36 知るぼると招待席

ペアリーロード商店街での職場体験と日銀見学

～東京都稲城市の小学生たちの一日～

- 38 トピックス

表紙のことは



日本銀行旧小樽支店（現・金融資料館）は、日銀本店（本館）を設計した辰野金吾博士とその弟子である長野宇平治らが設計し、明治四十五年に完成した。外観にルネッサンス様式を取り入れたレンガ造りの建築物であり、屋根に緑青色の大小五つのドームを配しているのが特徴。“北のウォール街”と呼ばれた当時の面影を残す小樽の街並みの一角をなしている。小樽支店は、明治一十六年に小樽派出所として開設されて以来、一〇九年にわたり営業を続けた後、平成十四年にその歴史に幕を閉じ、翌年五月に「金融資料館」として新しく生まれ変わった。営業当時の形を残す大理石の窓口カウターの壁に施されたアイヌの守神シマフクロウをモチーフとしたといわれる塑像なども見所となっている。